

スポーツニッポン杯争奪戦 FI



5/15(木)16(金)17(土)

ナイター
開催

川崎スポーツ

レース展望

5月15日から開催される川崎ナイター競輪はFI・スポーツニッポン杯争奪戦。名古屋ダービーを走り終えたS級有力選手が全国から参戦し、連日激しい戦いが予想される。

まずは南関東勢になるが、近況はマズマズ安定した成績を残している地元嶋津拓弥(103期)が追加出走となり、タテヨコ何でもこなす自在脚に磨きがかかっている渡邊雅也(静岡117期)を目標から上位進出を狙っていく。今やベテランとなったメーカー岡村潤(静岡86期)の存在も忘れてはならない。関東は自在型の末木浩二(山梨109期)がラインの徹底先行である堀江省吾(長野119期)と好連係を目論むが果して。東北勢では展開次第で自

在脚を繰り出す守澤太志(秋田96期)とベテランメーカー成田和也(福島88期)がツートップで、ここに4月取手で特昇を決めた山崎歩夢(福島125期)が追加参戦となり、川崎で待望のS級デビューを迎える。今年に入ってからチャレンジ・A級を18連勝でクリアして、その機動パワーはもちろん上位陣でも通用するだろう。父はGIタイトル9冠の山崎芳仁であり、これからの東北勢を引っ張っていく可能性も十分に、いきなりの決勝進出も夢ではない。近畿は自力型の福永大智(大阪113期)が主力になり、ダービーでは勝利を挙げることは出来なかったが、FIクラスでは優勝実績も豊富でもちろん軽視出来ない。中四国勢からは強力先行型取島雄

吾(岡山107期)と石原颯(香川117期)が出走。ともにダービーではなかなかの活躍を見せていただけに、ここも持てるパワーをフルに発揮する組立てに期待したい。キメ脚なかなかの阿竹智史(徳島90期)にとっては非常に頼もしい存在だろう。

A級戦では地元で気合入る高本和也(121期)が高松の落車からどこまで立て直しているのかが鍵になり、揃った静岡の追込型石橋慎太郎(88期)・飯田憲司(96期)と好連係を目論む。静岡には2班にも積極型松本京太(123期)がいるだけに、今開催の南関東勢はかなり層が厚い。前期S級の薦田将伍(愛媛113期)が孤軍奮闘でどこまで抵抗を見せられるか。

実力伯仲となりV争いは混戦模様

S級
主力選手



成田和也 福島 88期

この一年はGI戦線で目立った活躍はないが、随所でいぶし銀の走りを見せる玄人好みの選手。ある程度調子が上がれば、まだまだトップクラスで戦えるベテラン。今シリーズは同期山崎芳仁の息子である歩夢が勝ち上がってくるはずで、キメ脚発揮のチャンス十分。

S級
主力選手



嶋津拓弥 神奈川 103期

地元から急ぎよ追加参戦。近況目立った成績はないが、確かな差脚は上位相手でも展開さえ向けば決める鋭さがある。南関東の機動型は戦力不足な感はあるが、短い距離ならまくりを打つ脚力は十分にあるだろう。追加ながら地元のエースとして結果を出したい。

S級
主力選手



石原 颯 香川 117期

名古屋ダービーでは2勝を挙げて、ファンに猛アピールをした石原颯。昨年はS級の年間最多勝を記録するなど、いよいよ本格化の兆し。瞬発力、持久力ともに抜群で勝負所の思い切りもある。今回も1勝でも多く挙げて、ファンの車券に貢献したいところだろう。

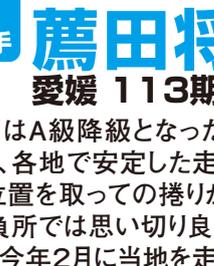
A級
注目選手



高本和也 神奈川 121期

高校卒業後、競輪選手を目指した高本和也は7年の時間を経てデビューした苦労人。ようやく初のS級昇級が見えるだけの実力を身に着けてきた。逃げでも捲りでも勝ち切れる機動力は十分だが、今年はまだ優勝は無い。ホームバンクで今年初優勝を決めたいところ。

A級
注目選手



薦田将伍 愛媛 113期

今期はA級降級となった薦田将伍だが、各地で安定した走りをしていく。位置を取っての捲りが基本だが、勝負所では思い切り良い走りもできる。今年2月に当地を走っているが、2日目途中で欠場している。今シリーズはいつも通りの堅実な走りでも人気に応えたい。

川崎競輪場バンクガイド (2024年1月~12月データ)

昨年1年間28開催・936レース(ガールズケイリンを含む)の川崎バンクの決まり手は右表の通り。昨年までのデータと逃げ・捲り・追込・マークのパーセンテージには大して変わりはないが、1着に限って言えば逃げ・捲りの決まり手は変わらず50%を超えているので、自力型のアタマから組み立てていく車券戦略が可能だろう。川崎名物イエローライン付近のゴール前強襲は、選手たちも新バンクに慣れて徐々に出現率が高くなってきている感であり、力のある追込型はたとえ後方に置かれたとしても、最終4コーナーから一気に巻き返す可能性もあり軽視出来ない印象だ。



競輪は適度に楽しみましょう。車券の購入は20歳になってから。

【発行】川崎競輪 【監修】川崎サイクル